

学校部門 恵庭市立恵み野中学校 北海道恵庭市



1989年の開校当初から、校内花壇や近隣の公園・植栽帯で、生徒・教員・卒業生・保護者・地域の花団体などが協力し、花壇づくりと美化活動が続けてきました。JR恵み野駅へ向かう「花さんぽストリート」の植栽帯管理や「恵み野やすらぎストリート」の除草作業にも取り組み、地域の景観形成に貢献しています。2025年度には市の花壇コンクールで最優秀賞を3年連続で受賞するなど成果も顕著で、生徒の自主性と学習活動を結びつけながら地域との連携を深めています。

学校花壇の管理水準の高さに加え、地域と共に花のまちづくりを推進する姿勢と協働の広がり、高く評価されました。

学校部門 群馬県立富岡実業高等学校 草花部 群馬県富岡市



富岡製糸場が富岡市に寄贈されたことを契機に、2006年に創部しました。生物生産科の生徒を中心に製糸場の花壇整備を始め、2014年の「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録後も活動を継続しています。現在は公共施設やツツジの名所・宮崎公園にも活動の場を広げ、ツツジの保全・再生・普及に取り組んでいます。挿し木による増殖や里親制度の導入、子どもたちや他校との協働を通じて、地域とのつながりを深めています。

部の活動は地域振興や景観づくりにも活かされており、市内全域に花苗を生産・供給する同校のカリキュラムと連携しながら花のまちづくりに貢献している点が、高く評価されました。

個人部門 奥川 きみ子 兵庫県西宮市



2008年、郊外の新興住宅地に新築した自宅で、ガーデニングを本格的に始めました。美しい里山に囲まれた立地にあり、自然林の緑を借景に、自然風で心地よい庭を造っています。庭内には地域在来種を含む多様な広葉樹や宿根草などが、計画的かつセンス良く配置され、木漏れ日を感じながら季節の移ろいを通年楽しめる空間が広がります。また2014年には、自治会内に「名塩さくら台景観緑化クラブ」を立ち上げ、住民の手で地域に花と緑を増やす活動を先導しています。

今後も猛暑が予想される中、樹木を中心とした一年草に頼らないローコスト・ローメンテナンスの庭づくりの先進事例としての取り組みが、高く評価されました。

個人部門 角所 誠司・いづみ 兵庫県南あわじ市



2008年の自宅リフォームを機に庭づくりを始め、2015年から約250㎡をオープンガーデンとして毎年公開しています。兵庫県立淡路景観園芸学校のインストラクター経験を活かし、廃材や淡路瓦も用いた美しく質の高いガーデンを築いています。2022年からは「あわじオープンガーデン」に参加し、18日間で約350人が訪れました。また、近隣の洲本市老人大学での寄せ植え講座やコープこうべでの園芸講習会、子どもたちとの交流など、地域の花のまちづくり活動にも参加しています。

地域の景観づくりに貢献する質の高いオープンガーデン活動を軸に、講習会や交流を通じて花のまちづくりにも取り組む点が、高く評価されました。

企業部門 武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園 京都府京都市



京都市左京区の曼殊院門跡に近い公道沿いの約200㎡を、2023年から同園職員が「地域の植物の遺伝子保全と普及を市民と目指す庭」として活用すべく整備を始めました。シンボル植物には地域の希少種「ヒオウギ」を用い、京都市環境政策局と協働で、市民向けに苗の育成講習会や植え付け体験会などを開催し、市民と共に育成や庭づくりに取り組んでいます。

活動を通じて、市民が植物に触れる場や交流の場、生物多様性への理解を深める場が創出され、地域貢献に寄与している点に加え、NEXCO西日本や京都市動物園など新たな連携先が増えるなど、活動の広がりが期待されることも、高く評価されました。

団体部門 水戸イングリッシュガーデンクラブ 茨城県水戸市



団体部門 みつばちガーデンズ&静岡市役所園藝部 静岡県静岡市



団体部門 小川お花畑ぐるーぷ 和歌山県古座川町



学校部門 玉川村立須釜小学校 福島県玉川村



奨励賞

学校部門 和歌山県立和歌山高等学校 和歌山県和歌山市



企業部門 有限会社豆蔵 愛知県岡崎市



孺恋村



市町村部門 群馬県孺恋村

プリンセスローズクラブ



団体部門 栃木県那須塩原市

高岡市立醍醐公民館 花と緑の推進部会



団体部門 富山県高岡市

花と緑の銀行上市支店



団体部門 富山県上市町

美山を美しくする会



団体部門 福井県福井市

しらかわバラの会



団体部門 福島県白河市

上堀駅を愛する会



団体部門 富山県富山市

市井自治会



団体部門 富山県射水市

東藤島おもてなし花壇



団体部門 福井県福井市

天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト



団体部門 静岡県浜松市

みくりや花と緑の会



団体部門 静岡県磐田市

関田西高砂会・関田東高砂会



団体部門 愛知県春日井市

特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワーク



団体部門 愛知県田原市

堀切地区ボランティアの会



団体部門 愛知県田原市

菰野町水土里の郷の会



団体部門 三重県菰野町

コットン平野



団体部門 大阪府大阪市

さつき福祉会 さつき障害者作業所



団体部門 大阪府吹田市

シーマークス・タテニワ倶楽部



団体部門 兵庫県神戸市

ガーデンファイブ



団体部門 兵庫県伊丹市

伊丹市フラワーリーダー同好会 8 期生



団体部門 兵庫県伊丹市

サポーターズガーデン



団体部門 兵庫県伊丹市

鶉野中町花家族の会



団体部門 兵庫県加西市

花てまりの会



団体部門 和歌山県那智勝浦町

横川第二公園園芸クラブ



団体部門 広島県広島市

ふれあいガーデン「くすな」



団体部門 広島県広島市

北九州市立小嶺児童館



団体部門 福岡県北九州市

金田第一町内会



団体部門 福岡県北九州市

花畑 3 丁目 1 区町内会スマイルガーデン



団体部門 福岡県福岡市

黒肥地 10 区 みんなの花壇



団体部門 熊本県多良木町

宮城県加美農業高等学校



学校部門 宮城県色麻町

喜多方市立上三宮小学校



学校部門 福島県喜多方市

五霞町立五霞中学校



学校部門 茨城県五霞町

館林市立第九小学校



学校部門 群馬県館林市

長岡市立桂小学校



学校部門 新潟県長岡市

高岡市立成美小学校



学校部門 富山県高岡市

三島市立東小学校



学校部門 静岡県三島市

富士市立富士南小学校



学校部門 静岡県富士市

菊川市立小笠北小学校



学校部門 静岡県菊川市

松崎町立松崎中学校



学校部門 静岡県松崎町

静岡県立伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校



学校部門 静岡県松崎町

尼崎市立上坂部小学校



学校部門 兵庫県尼崎市

明石市立清水幼稚園



学校部門 兵庫県明石市

学校法人野間幼稚園



学校部門 兵庫県伊丹市

みなべ町立高城小学校



学校部門 和歌山県みなべ町

認定こども園 高見の森保育園



学校部門 福岡県北九州市

清水 貴久子



個人部門 栃木県那須塩原市

松本 茂治



個人部門 群馬県館林市

滝澤 善隆・市子



個人部門 長野県松本市

服部 啓子



個人部門 愛知県大府市

房谷 弘之



個人部門 兵庫県姫路市

尾花 幸雄



個人部門 兵庫県加西市

寺尾 康男・桂子



個人部門 兵庫県朝来市

松浦 さつき・千春



個人部門 兵庫県たつの市

苅尾 安正・希美子



個人部門 兵庫県たつの市

有限会社風のみどり塾



企業部門 東京都港区

株式会社金沢村田製作所



企業部門 石川県白山市

タニザワフーズ株式会社



企業部門 愛知県岡崎市



第32回
全国

花の まちづくり

恵庭大会

はなふる恵みの庭 いま、花のはなしをしよう

令和8年

6月27日 土 ・ 28日 日

式典会場 恵庭市民会館


現地見学会 花の拠点 はなふる及び恵庭市内

主催

恵庭市
第32回全国花のまちづくり恵庭大会実行委員会
花のまちづくりコンクール推進協議会

第32回全国花のまちづくり恵庭大会実行委員会
北海道恵庭市京町1番地
TEL.0123-33-3131 (内線:2525)





さくらの植樹活動を通じ
北海道のまちづくりを応援します。

元気からはじめます。



中道リース



ともに、次の農業へ。

石川県能登地域では、地震の被害を受けた
農地や牧草地などの復旧が、日々進められています。

復旧活動には、地域の支援機関が大きな役割を果たしており、
コマツもICT技術を活用した
「農業ブルドーザー」による支援を行っています。

特に水田においては、この「農業ブルドーザー」が
力を発揮します。ブレードの自動制御により、
操作経験の少ない方でも、高精度な均平化が可能。
農家の方が、自ら亀裂の入った水田を修復することで、
いち早く米作りの再開に取り組めるようになりました。

農業復興の進展が、能登地域の未来に、
一筋の光をもたらしています。

農家、地域の支援機関、そしてコマツは、
ひとつになって、ここから前へ。
次の農業を目指していきます。

農業ブルドーザー D21PL



ひとつになって、
次の農業を目指していく。
コマツの取り組みを
ご紹介します。

KOMATSU
Creating value together

第35回（2025年） 全国花のまちづくりコンクール

1990年に開催された「国際花と緑の博覧会」の理念を継承してこの事業を推進しています



提 唱

農林水産省
国土交通省

主 催

花のまちづくりコンクール推進協議会

〔 公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 公益財団法人都市緑化機構
全国花みどり協会 公益財団法人日本花の会 〕

後 援

文部科学省 全国知事会 全国市長会 全国町村会 （一社）日本経済団体連合会 （一社）日本新聞協会 **NHK**

協 賛

一般社団法人 JFTD コマツ 中道リース株式会社 キャプテンスタッグ株式会社

協 力

（公社）園芸文化協会 （一財）沖縄美ら島財団 （一財）公園財団 全国公園協会協議会
（一財）地域活性化センター （一社）日本インドア・グリーン協会 （一社）日本植木協会
（一社）日本花き卸売市場協会 （一社）日本花き生産協会 （公社）日本家庭園芸普及協会
（公社）日本観光振興協会 （一社）日本公園施設業協会 （一社）日本公園緑地協会 （公財）日本さくらの会
（一社）日本施設園芸協会 （一社）日本種苗協会 （一社）日本造園組合連合会 （一社）日本造園建設業協会
（一財）日本造園修景協会 （公社）日本フラワーデザイナー協会 （一社）日本ホテル協会
（一財）日本緑化センター （一社）ランドスケープコンサルタンツ協会

お問い合わせ先

コンクール事務局 公益財団法人日本花の会



〒105-8316
東京都港区海岸一丁目 2-20 汐留ビルディング
TEL 03-6849-9821 / FAX 03-6849-9822
<https://www.hananokai.or.jp/city/>



みどりをはぐくむ
明日のために

©Expo 2027

表紙の写真 第35回（2025年）全国花のまちづくりコンクール 大賞受賞者

上段左 射水市 / 上段中 伊奈町立小針北小学校 / 上段右 佐々木 裕哲
下段左 名塩さくら台景観緑化クラブ / 下段右 浦戸諸島「海と花の物語」

全国花のまちづくりコンクールはGREEN×EXPO 2027全国連携プログラムに登録された活動です